【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2017-131870(P2017-131870A)
【公開日】平成29年8月3日(2017.8.3)
【年通号数】公開・登録公報2017-029
【出願番号】特願2016-15977(P2016-15977)
【国際特許分類】
Ｂ０５Ｂ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０５Ｂ　1/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年6月13日(2018.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流体を吐出するための吐出口を備える流体吐出要素であって、
前記吐出口を形成する縁部と、
前記縁部に連続し前記流体が流れる内面と、
前記縁部に連続し、前記内面の径方向外側において管状体を形成する側面と、
前記吐出口の前記流体が付着する領域の前記管状体の前記側面と、前記内面と前記側面とを連続する縁部とに形成された環状溝と
を備える流体吐出要素。
【請求項２】
前記縁部は、曲面として形成される、請求項１に記載の流体吐出要素。
【請求項３】
前記縁部は、前記管状体の長手方向に対して傾斜して横断する方向に延びる、請求項１または２に記載の流体吐出要素。
【請求項４】
吐出口からの流体の吐出を制御する流体制御方法であって、
内面と、側面と、前記内面と前記側面とに連続する縁部と、前記縁部の流体が付着する領域であって、前記側面と、前記内面と前記側面とを連続する縁部とに形成された環状溝とを備える吐出口に流体を接触させる工程を含む、流体制御方法。
【請求項５】
前記縁部は、前記管状体の長手方向を垂直に横断するか、または前記管状体の長手方向に対して傾斜して横断する方向に延びる、請求項４に記載の流体吐出方法。
【請求項６】
前記縁部は、曲面として形成される、請求項５に記載の流体吐出要素。